

# 事業評価票

117	<b>橋梁の予防保全型管理の推進（橋梁の長寿命化・橋梁の耐震補強・橋梁の補修）</b> （建設局道路管理部／一般会計）	事業開始	平成 ー 年度
		事業終了予定	平成 ー 年度

## 【局評価】

<b>1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>	
○ 兵庫県南部地震の被災経験から地震に強い橋梁の整備のために、平成7年度から既設橋梁の耐震補強を行っている。 ○ 高度経済成長期に集中して建設された橋梁の更新ピークの到来に備え、既設橋梁の架け替え時期の平準化等を目的として、21年度から既設橋梁の長寿命化を行っている。 ○ 道路管理者として、橋梁を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないために、既設橋梁の補修を行っている。	
根拠法令等	道路法第42条

<b>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</b>	
○ 発災時における緊急輸送道路等の橋梁のうち、耐震補強対策の対象橋梁401橋の耐震補強を実施し、震災時における緊急輸送道路等の機能確保を図った。 ○ 橋梁の長寿命化については、平成26年度末までに累計46橋の工事に着手し、昌平橋、駒留陸橋等、累計14橋が完了している。 ○ 昭和46年より橋梁の定期点検に着手し、現在「第八次定期健全度調査」を実施している。	

<b>3 どのような課題や問題点があったか</b>	
○ 高度経済成長期に集中して建設された橋梁の更新ピークが近づいており、架け替え時期の平準化や安全性の向上等を一層推進していく必要がある。 ○ 併せて、今後、橋梁等の道路構造物が急速に老化していくことを踏まえ、定期健全度調査に基づいたメンテナンスサイクルを確立することが求められている。 ○ 上記の課題解決に向けた対応を効率的に行うための執行体制の強化が不可欠である。	

<b>4 局として、事業をどうしていきたいか</b>					
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
○ 耐震補強事業の進捗を踏まえ、より効率的な執行体制の確保を図ることで長寿命化事業及び橋梁補修事業をこれまで以上に推進していく。 ○ より一層の安全・安心を確保すると共に架け替え時期の平準化や維持管理水準の向上等を図る。					
歳入	26年度決算額	7,328,515 千円	歳出	26年度決算額	12,451,305 千円
	27年度予算額	15,238,006 千円		27年度予算額	17,188,327 千円
	28年度見積額	1,551,495 千円		28年度見積額	17,089,200 千円

## 【財務局評価】

<b>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>	
○ 安全・安心確保に向け、これまでも橋梁の耐震補強・長寿命化・補修事業を着実に推進してきている。 ○ 今後、多くの橋梁が老朽化を迎える現状を踏まえ、長寿命化事業や橋梁補修事業をこれまで以上に推進し、安全・安心の確保を図っていくことは必要である。	

<b>6 28年度予算で、どのように対応したか</b>			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
○ 見積額のとおり計上する。			
歳入	28年度予算額	1,551,495 千円	
歳出	28年度予算額	17,089,200 千円	